

相模大野図書館 ヤングアダルト向け読書案内

YAD

2023.9

Vol. 30

新着紹介

新しい本を
CHECK!

祝☆YAD30号！
30号記念特集

9月生まれの作家
長嶋有さん

手書きのPOPでご紹介
職業体験に来てくれた
中学生おすすめの本

毎号恒例
図書館員
おすすめ本

今年の収穫は、ハア～……ベストだ

本の大収穫祭
in 相模大野図書館

10号 から

Pickup



YA913

『死神うどんカフェ1号店 一杯目』
石川 宏千花／著 講談社

30号にちなんで、「3」の付く本を集めてみました！



「ゲームやマンガに出てくるモンスターってそもそも何者？」そんな疑問に答えてくれる本。モンスターの特徴を知ると、ゲームにも強くなっちゃうかも！

388 『一日3分読むだけで一生語れる
モンスター図鑑』

山北 篤・細江 ひろみ／著
LIM・緑川 美帆／イラスト すばる舎

主人公カーリーは、おしゃべりが大好きな普通の女の子。ところが、転校生メレディスがやってきてから、カーリーの人を信じやすい性格が災いして、魔女の餌食になることに！

YA933

『13ヶ月と13週と13日と満月の夜』
アレックス・シラード／著 金原 瑞人／訳
求龍堂



祝 30号

記念特集

20号 から

Pickup



YA210

『公立高校教師 YouTuber が書いた
一度読んだら絶対に忘れない日本史の教科書』
山崎 圭一／著 SBクリエイティブ

祖父が残した活版印刷所「三日月堂」を引き継ぐ決心をした弓子。一枚ずつ手作業で印刷される温かみのある活字は、人々の心を癒していく。舞台となる川越の街もとても魅力的です。シリーズ1巻目。



BFYA 『活版印刷三日月堂 星たちの栄』
ほしお さなえ／著 ポプラ社



YA547

『SNSをポジティブに楽しむための30の習慣』
井上 裕介 (NON STYLE)／著
ヨシモトブックス



職業体験に来てくれた 中学生 おすすめ の本

2023年6月に相模大野図書館で職業体験をした中学生が、YA世代におすすめの本を紹介してくれました。手書きのPOPはどちらも力作！ぜひ読んでみてください♪

「カイソクと言われる男がササギについて語る」
主人公はその話を聞き、どのような成長をするのが？

13歳からの地政学

田中孝幸
東洋経済新報社

県内の進学校に通っている大樹と勉強よりもおしゃれや流行のアイドルのほうが女子生徒の杏の2人が「ある日カイソクと言われる男と出会う…

カイソクはどのような話をするのか
そしてカイソクとは何者なのか—その真実か
この本に書かれている。



726.6

『あるかしら書店』

ヨシタケ シンスケ／著 ポプラ社

YA312

『13歳からの地政学

カイソクとの地球儀航海』

田中 孝幸／著 東洋経済新報社

ながしまゆう 9月生まれの作家 長嶋有 さん

長嶋有 昭和47年9月30日生

埼玉県草加市出身。

平成13年『サイドカーに犬』でデビュー。

平成14年『猛スピードで母は』で芥川賞受賞。

小説以外にもマンガ評論や句集も出版。

別名義の「ブルボン小林」としても活躍中。



F 『タ子ちゃんの近道』

長嶋 有/著 新潮社

古道具屋の2階で住み込みをしながら働くことになった「僕」。店のすぐ裏に住む定時制高校に通うタ子ちゃんと、美大生の朝子さん姉妹。向かいに住む何も買わない常連さん。たまにやってくる店長。

どこか捉えどころのない「僕」と、個性的な周囲の人たちとの交流が優しく描かれている本作。すぐ隣にありそうなユートピアに自分も参加したくなります。

第1回大江健三郎賞受賞作。

YA913 『ぼくは落ち着きがない』

長嶋 有/著 光文社

桜ヶ丘高校の図書部員、望美、頬子、ナス先輩らは、図書室をペニヤ板で区切っただけの部室をたまり場にしています。

クラスに居るよりも部室の方に長く居たり、文芸部となぜか対立したり。

「十代を正しく無為に過ごす」ことの尊さが詰まつた本作は、いまだかつてない文科系“部室小説”です！



★図書館員ぶすすら本★

図書館員〇

勇気もらえる度



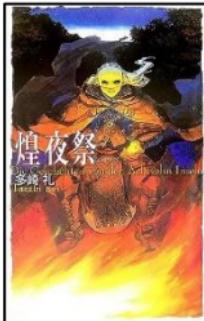
YA159 『君たちはどう生きるか』

吉野 源三郎／著
マガジンハウス



吉野源三郎

中学生のコペル君が、良き理解者の叔父さんに支えられ、自分はどう生きていきたいのか、どんな人間でありたいのかを模索していく物語です。誰もが経験したことのあるような失敗や感情が書かれていて、苦しみながらも信念を見つけていく姿に共感、勇気をもらえる作品です。漫画版もあります。ぜひご利用下さい。



煌夜祭

図書館員△

語り部度



F 『煌夜祭』

多崎 礼／著 中央公論新社

冬至の夜に、語り部たちが世界を巡って集めた物語を夜通し語り合う「煌夜祭」。二人の語り部が交互に語る物語が、やがて一つに繋がり世界の真実が明らかになっていきます。切ない話が多いですが、希望が見え全ての繋がりが分かったあと、もう一度読み返したくなります。ファンタジー・ミステリー好きな方におすすめしたい小説です。



新着情報コーナー



2023年6月以降に相模大野図書館に入った本を、一部紹介します！



法律により、成年年齢が20歳から18歳になりました。できることが早まりますが、その分気をつけなければいけないこともあります。ゲーム課金の高額請求や自転車事故など、日常で起きた様々な事例とその注意点をわかりやすく紹介しています。

YA324 **『18歳から「大人」？成人にできること、できないこと』全3巻**

『18歳から「大人」？』編集委員会／編著 汐文社



ライブやイベントなど推し活の様々なシーンで役立つ単語やフレーズが満載。「チッケム」「エンディング妖精」など推し活ならではの用語やファンレターの書き方なども載っています。楽しみながら言語や文化を学べます！

同シリーズの英語編も所蔵しています。

YA829 **『推し活韓国語 世界が広がる』**

柳 志英・南 嘉英／著 桶野 泉・劇団雌猫／監修 Gakken



中学1年生・夏希の家は老舗靴店「靴ノ往来堂」です。シューズデザイナーになりたいという夢はあるけど、まだ自信が持てず、迷いもあります。クラスメイトや店のお客さんと関わっていくなかで夏希が見つけた夢とは？

YA913 **『ノクツドウライオウ 靴ノ往来堂』**

佐藤 まどか／著 あすなろ書房